

所属機関長殿

平成27年度 研究助成のご案内について

拝啓 時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご承知の如く本財団は、研究助成事業と顕彰事業を2本の柱とする事業を展開しております。

さて、平成27年度の研究助成事業として「臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究」の領域でより優れた学術研究・業績テーマに対して研究助成を行います。

早速ながら、本年度の研究助成金申請書を作成しましたのでお届けいたします。

ご多忙中のところ、恐縮ではございますが貴機関の関係者にご伝達の上、平成27年5月29日(金、当日消印有効)までに、申請者ご自身から本財団宛申請くださいますようお願いの程、ご案内かたがたお願い申し上げます。

敬具

平成27年3月吉日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

理事長 中谷 林 大 郎



※公益財団法人 黒住医学研究振興財団の事務局は
東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル7 栄研化学株式会社内にあります。
TEL 03-5846-3504 FAX 03-5846-3514
URL <http://www.kmf.or.jp> E-mail: info@kmf.or.jp

公益財団法人 黒住医学研究振興財団
平成 27 年度 第 23 回 研究助成事業募集要項

1. 研究助成事業の対象

研究助成は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究で、より優れた学術研究・業績を研究助成事業の対象とし、若手の育成（原則として 50 歳以下）を主眼としています。（財団ホームページ「よくあるご質問」をご参照ください。）

2. 応募資格

医学関連の大学及びその他の教育機関、研究所並びに医療機関等において、本研究助成事業の対象領域において調査、研究に積極的に取り組もうとする個人とします。

ただし、大学教授及び国公立研究機関の部長並びにこれらに準ずる職位の方は除きます。

3. 対象領域

- ① 臨床化学
- ② 分子生物学（医学）
- ③ 臨床微生物学
- ④ 臨床免疫学
- ⑤ 検査血液学
- ⑥ 人体病理学
- ⑦ 疫 学* *臨床検査・衛生検査についての集団(mass)を対象に扱う研究の七つの領域とします。

4. 募集期間

平成 27 年 3 月 9 日（月）から平成 27 年 5 月 29 日（金）までとします。

なお、郵送の場合は当日の消印まで有効です。

5. 研究助成件数及び研究助成額

研究助成額は 1 件 100 万円を限度とし、13 件以上とします。

研究期間は、原則として 1 年間としますが、終了しない場合は中間報告として研究・会計報告書を提出していただきます。

6. 応募方法

所定の申請書に必要事項を原則としてワープロソフトにより黒インクで記入し、本財団研究助成金選考委員会 宛に送付してください。

なお、提出数は「原本と複写 2 部」の合計 3 部を送付してください。

☆財団ホームページ募集要項から Word 2003 ファイルで申請書をダウンロードすることができます。

7. 審査方法及び通知

本財団の委嘱する審査委員が七つの対象領域ごとに審査したあと、選考委員会で選考審査を行い、理事会で決定します。その結果は、本財団ホームページに掲載し、受贈者にその旨を通知いたします。

8. 研究助成金の贈呈

平成27年10月30日(金)の小島三郎記念文化賞贈呈式にあわせて、研究助成金を贈呈します。

9. 受贈者の研究助成金受領後の義務

本財団の研究助成金募集要項により手続きを行っていただきますが、本財団の年報発行のため、次の①、②、④の事項を研究助成金受領後(贈呈式後)、1年以内に本財団事務局へ提出していただきます。

① 研究結果については2,000字以内の報告書の提出

② 会計報告の提出

③ 研究結果を発表する口頭発表(記録あり)、論文発表等には本財団の研究助成を受けた旨の附記(英字表記の場合は、「KUROZUMI MEDICAL FOUNDATION」)

④ 継続研究の場合は中間報告書の提出

※「研究報告書」の本財団事務局への提出が確認できなかった場合は、当該研究課題について贈呈した研究助成金の贈呈決定の取り消し及び返還を求め、所属する研究機関の名称等の情報を公表する場合があります。

10. 申請書類の提出先

〒110-8408

東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7 栄研化学株式会社内

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 研究助成金選考委員会 宛

(問い合わせ先)

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 事務局

TEL 03-5846-3504

FAX 03-5846-3514

E-mail info@kmf.or.jp

附記 ○必ず公益財団法人黒住医学研究振興財団のホームページから申請書をダウンロードしてご使用ください。(年度毎に改訂されますのでご注意ください。)

URL <http://www.kmf.or.jp/>

○所属機関長は大学長、研究所長、病院長及びそれに相当する職域の長であること。

○応募の書類は一切返却いたしません。

第 22 回研究助成金贈呈者の研究課題一覧 (平成 26 年度)

参考

氏 名	所 属	研 究 課 題	選考対象
いしい あつし 石井 敦士	福岡大学病院小児科 助手 医学博士	乳幼児期発症の難治性有熱時てんかん患者 300 名に対して、次世代シーケンサーを利用した Target capture 法により、てんかん関連 400 遺伝子の変異保有率と変異遺伝子による表現型の検証	分子生物学
いわたに そうた 岩谷 壮太	神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野 博士課程	ビリルビン誘導蛍光タンパク質(UnaG)を用いた新たな血清ビリルビン測定法の開発	臨床化学
うの なおき 宇野 直輝	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学 (臨床検査医学) 助教 医学博士	成人 T 細胞白血病に対する新たなフローサイトメトリー検査法の開発	検査血液学
おおこうど みつあき 大河戸 光章	杏林大学保健学部 病理学研究室 講師 保健学博士	肛門管上皮内腫瘍における細胞診判定基準に関する研究	人体病理学
おかだ さとし 岡田 賢	広島大学病院小児科 助教 医学博士	顆粒球抽出抗原を利用した新規抗ヒト好中球抗体測定法の開発	臨床免疫学
かげやま ゆうこ 影山 祐子	東京大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師 保健学博士	スフィンゴシン 1 リン酸作用修飾による門脈圧亢進症治療の適応症例の解明	臨床化学
さいとう りょういち 齋藤 良一	東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 准教授 保健学博士	<i>Clostridium difficile</i> の分子疫学とその感染対策への応用に関する研究	臨床微生物学
じくぞの ともお 軸菌 智雄	小山記念病院 甲状腺科 部長 医学博士	穿刺吸引細胞診検体のマイクロ RNA 解析による甲状腺濾胞癌診断技術の開発	分子生物学
しもかりや ゆうじ 下仮屋 雄二	三重大学医学部附属病院 中央検査部 副臨床検査技師長	多項目自動血球分析装置による幼若顆粒球比率(IG%)、幼若顆粒球数(IG #)、幼若血小板比率(IPF%)測定の実臨床的有用性の検討	検査血液学
たなか みずこ 田中 瑞子	福島県立医科大学 基礎病理学講座 助教 医学博士	原発性ネフローゼ症候群の新規診断マーカーの確立	人体病理学
なかもと のぶひろ 中本 伸宏	慶應義塾大学医学部 内科学教室(消化器) 助教 医学博士	新規バイオマーカー CCR9 を用いた重症急性肝炎の劇症化予測	臨床免疫学
にしうら ひろし 西浦 博	東京大学大学院医学系研究科 国際社会医学講座 准教授 保健学博士	ヘマグルチニン抑制試験の抗体価による人ロレベルのインフルエンザ感受性分布と感染リスクの推定	疫学
ひだ ゆきお 飛田 征男	福井大学医学部附属病院 検査部 主任臨床検査技師 医学博士	遺伝子学的手法を用いた <i>C.pneumoniae</i> と <i>C.psittaci</i> の鑑別法の開発とクラミジア肺炎における臨床応用	臨床微生物学

総申請者 153 名
研究助成金総額 1,200 万円(内訳 100 万円:3 名、90 万円:10 名)